

## 統計処理で介護の品質アップ (1)

ワンズヴィラ池鯉鮒

代表取締役 深谷憲夫

当施設ではご利用様の健康維持の為に科学的な統計学上からの分析を行い介護法の参考にしております。ここにその内容に関しご紹介致します。

まずは目的からご紹介致します。順を追ってご説明することでご理解いただけると考えます。

- (1) 過去の生理現象を数値で把握 (バイタル値等の生理現象)
- (2) 現状値と比較し
- (3) 傾向の 変化を分析
- (4) 一般的標準値、個人別の平均値(標準値)との比較 相違点の掌握
- (5) 健康な通常に戻すべく各種専門家の協力もお願いしながら介護経過観察
- (6) 必要に応じて 対策を実施 その記録・観察・記録の補強

このような(1)～(6)のサイクルを常時日常的に繰り返し、ご利用者の個性を掴み、個人別健康維持を実施しようという科学的な介護であります。介護が「感」や「旧態依然」としたものは無く、事実データで健康維持、その可能性を大いに高め、皆様に喜んでいただく質の高い介護を目指すものであります。勿論現状の良いところは維持しながらです。

もう少し具体性をもってご説明致しますと

ご利用者個人の特徴を把握するために最低でも1ヶ月のデータを普段の生活の中で記録を取って統計処理を加え健康維持の基本データとします。当施設をご利用いただけますと日々の生活に於いて自然な姿で、バイタル測定、身長体重、食事量、排泄状況、等の介護の観測データを計ります。

バイタル測定---- 血圧(高低値と脈圧)、脈拍数、体温 等

身長と体重

水分の摂取量

尿量、(その回数、色等々)

便量、(その回数、形状、硬さ、色等々)

生活環境(出来事、レクリエーション、その他)

介護士、看護師からの記録を用いて、平均値、標準偏差、変動値、傾向値、等の個人の特徴を掴みます。更には、その時の出来事、前後の傾向との違い、等の情報からこれから発生するであろう事象の可能性を統計学ではじきだします。

ここで 重要なのは分析から算出された統計値を科学して、体調が不調にならないように予防する事が重要であります、それは皆様の経験上からもお分かりのように時として可能なのです。（これを健康管理と予防管理としています。）

例えば、過去にこの方は「血圧がこのような傾向」を示したとき次には「このような体調不調になった」、我々は予防のために、「同様のことが繰り返し発生しないように医師の助言を頂こう。」または「このような介護の変更をしよう」と分析データから考えるのです。時系列の日々のデータが参考になります。

又、「最近水分の摂取量が少なくなっている。何らかの形で水分をもっと摂取していただく。」。「この方は健康時平均的に900cc程度摂取している方なので少々頑張って摂取していただく。統計学的にできる可能性（確率）のある方ですから出来るでしょう。」と展開されていきます。

又更には、体重変化、排泄の変化等においても健康維持のためのご利用者様個人のデータを把握しながら我々の 介護方法に科学的（統計的）な根拠に基づいた介護の変更をさせて行きます。

本格的に初めて6ヶ月、やっとな皆様にご説明できる根拠有るものが完成し、充実に磨きをかけ改定もしてまいります。本件は職員の教育も非常に重要であります。今後は統計学に医学的な専門知識を加え、ワンズヴィラ池鯉鮒独自の健康管理。予防管理をご提供してまいりたいと考えています。

サンプルデータに関して： 仮に作成された図表としてご覧ください。

図表はご本人とご家族にデータは配布されたり、更に整理した一覧表は職員のご利用者の対応用にもなります。この図表から介護の内容に変更が加えられたり、参考に保存されたりします。

この他に各種の分析データ、整理データを作成し、よりの確なご指摘、ご指導ができるように計画し、実行中です。

今後ますます充実した介護をご提供できるように職員一同努力してまいります  
宜しくお願い申し上げます。

平成27年11月



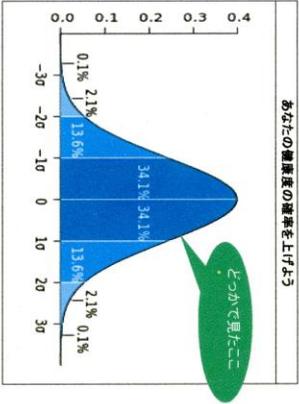
## 皆さんの健康をリードする諸表

保存版

富士余グループ：コンスゲイラ池鯉鮒(深谷マキノカルビLKK)選抜

### 統計を活用

あなたの健康度の標準を上げよう



### 血圧の知識(正常値知ましょう)

血圧の標準値、要注意値

収縮正常値	60	正常値	70	正常値	80
拡張正常値	40	正常値	50	正常値	60
収縮異常値	130	異常値	140	異常値	147
拡張異常値	80	異常値	81	異常値	81
収縮正常値	130	異常値	141	異常値	146
拡張正常値	80	異常値	81	異常値	81
収縮正常値	130	異常値	141	異常値	146
拡張正常値	80	異常値	81	異常値	81

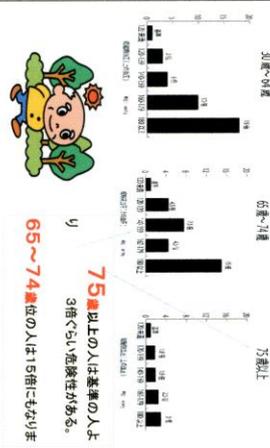
収縮正常値 60 正常値 70 正常値 80  
拡張正常値 40 正常値 50 正常値 60  
収縮異常値 130 異常値 140 異常値 147  
拡張異常値 80 異常値 81 異常値 81 異常値 81

収縮正常値 130 異常値 141 異常値 146  
拡張正常値 80 異常値 81 異常値 81

収縮正常値 130 異常値 141 異常値 146  
拡張正常値 80 異常値 81 異常値 81

収縮正常値 130 異常値 141 異常値 146  
拡張正常値 80 異常値 81 異常値 81

### 血圧と死亡率の関係



### 血圧に基づいた脳心血管リスク

収縮期血圧(上の血圧)	拡張期血圧(下の血圧)			リスク
	<80	85-89	90-99	
<120	正常血圧	正常高血圧	Ⅰ度高血圧(軽症)	Ⅰ度高血圧(軽症)
130-139	正常高血圧	Ⅰ度高血圧(軽症)	Ⅱ度高血圧(中等症)	Ⅱ度高血圧(中等症)
140-159	Ⅰ度高血圧(軽症)	Ⅱ度高血圧(中等症)	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)
160-179	Ⅱ度高血圧(中等症)	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)
≥180	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)	Ⅲ度高血圧(重症)

収縮期血圧(上の血圧)

拡張期血圧(下の血圧)

リスク

Ⅰ度高血圧(軽症)

Ⅱ度高血圧(中等症)

Ⅲ度高血圧(重症)

正常血圧

正常高血圧

Ⅰ度高血圧(軽症)

Ⅱ度高血圧(中等症)

Ⅲ度高血圧(重症)

収縮期血圧(上の血圧)

拡張期血圧(下の血圧)

リスク

Ⅰ度高血圧(軽症)

Ⅱ度高血圧(中等症)

Ⅲ度高血圧(重症)

正常血圧

正常高血圧

Ⅰ度高血圧(軽症)

Ⅱ度高血圧(中等症)

Ⅲ度高血圧(重症)

### 健康になる確率の求め方

健康になる確率の求め方

測定期間中のあなたの平均値が判ります  
測定値のばらつきが判ります・安定度が判ります  
測定値の数値の意味、その量が判ります  
同一の傾向を持った結果の再発の可能性が判ります  
可能性がわかればその予防処置が判ります  
特性(傾向)を把握することが可能です  
ばらつき(ばらつき)の上昇値、下昇値を算出し、予防対策の必要度が確認できます  
見える化で現状を把握しやすくなります  
長期間のデータより確かな事象に基づいた大切なデータになります  
病気が発生する可能性を過去のデータから推定できるようになります

健康になる確率の求め方

測定期間中のあなたの平均値が判ります  
測定値のばらつきが判ります・安定度が判ります  
測定値の数値の意味、その量が判ります  
同一の傾向を持った結果の再発の可能性が判ります  
可能性がわかればその予防処置が判ります  
特性(傾向)を把握することが可能です  
ばらつき(ばらつき)の上昇値、下昇値を算出し、予防対策の必要度が確認できます  
見える化で現状を把握しやすくなります  
長期間のデータより確かな事象に基づいた大切なデータになります  
病気が発生する可能性を過去のデータから推定できるようになります

健康になる確率の求め方

測定期間中のあなたの平均値が判ります  
測定値のばらつきが判ります・安定度が判ります  
測定値の数値の意味、その量が判ります  
同一の傾向を持った結果の再発の可能性が判ります  
可能性がわかればその予防処置が判ります  
特性(傾向)を把握することが可能です  
ばらつき(ばらつき)の上昇値、下昇値を算出し、予防対策の必要度が確認できます  
見える化で現状を把握しやすくなります  
長期間のデータより確かな事象に基づいた大切なデータになります  
病気が発生する可能性を過去のデータから推定できるようになります

## コンスゲイラ池鯉鮒の健康管理・予防管理の基礎データと比較参照してください